



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 T P R株式会社

コード番号 6463 URL <http://www.tpr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 岸 雅伸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小島 亮治 TEL 03-5293-2811

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	43,845	△7.1	2,854	△43.9	3,351	△42.3	2,079	△40.6
2019年3月期第1四半期	47,181	3.4	5,086	△15.9	5,804	△13.9	3,498	△4.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,556百万円 (34.4%) 2019年3月期第1四半期 1,902百万円 (△53.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	58.61	ー
2019年3月期第1四半期	98.61	98.57

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	234,749	134,949	45.4	3,006.75
2019年3月期	232,275	135,472	45.9	3,001.90

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 106,691百万円 2019年3月期 106,519百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	27.00	ー	27.00	54.00
2020年3月期	ー				
2020年3月期（予想）		30.00	ー	30.00	60.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 2020年3月期配当金（予想）の内訳 普通配当 56円00銭 記念配当 4円00銭（創立80周年記念配当）

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	187,700	△2.6	15,400	△15.9	18,600	△14.5	10,900	△5.3	307.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	36,100,099株	2019年3月期	36,100,099株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	615,957株	2019年3月期	615,901株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	35,484,160株	2019年3月期1Q	35,478,680株

(注) 期末自己株式数については、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式（2020年3月期1Q 96,300株、2019年3月期 96,300株）を含めております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式については、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式（2020年3月期1Q 96,300株、2019年3月期1Q 96,300株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間を取り巻く経営環境は、国内は政府の経済対策や金融政策による効果により、引き続き雇用や所得環境に改善の傾向が見られ、緩やかな回復基調となりました。一方、海外は一部の国における地政学的リスクの顕在化、中国、新興国経済の成長鈍化、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題の影響による世界経済の減速懸念など、国際経済の不確実性は増しており、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが主として関連する自動車業界におきましては、国内は軽自動車が続き下支えし、堅調に推移しましたが、海外は新興国市場の成長鈍化、北米が踊り場となり、中国は前年度を下回るなど、世界市場として大変厳しい環境となりました。

こうした経営環境のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は、中国、北米の二大市場の減速等により7.1%減少いたしました。利益面は、継続的な原価低減活動の推進や経費圧縮などを実行いたしました。売上高の減少や新技術の量産立上げコスト、新商品の開発費用などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間の業績数値につきましては、次のとおりであります。

売上高	438億45百万円	(前年同期比 7.1%減)
営業利益	28億54百万円	(前年同期比 43.9%減)
経常利益	33億51百万円	(前年同期比 42.3%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	20億79百万円	(前年同期比 40.6%減)

セグメントの業績概況は、次のとおりであります。

< T P R グループ (除くファルテックグループ) >

## ①日本

日本は、売上高は123億5百万円で、前年同期に比べて28百万円の増収となりました。セグメント利益は8億59百万円で、新技術の量産立上げコスト、新商品の開発費用などにより、前年同期に比べて4億59百万円の減益となりました。

## ②アジア

アジア地域は、売上高は73億77百万円で、中国市場の減速や販売単価の下落などにより、前年同期に比べて17億29百万円の減収となりました。セグメント利益は15億19百万円で、売上高の減少などにより、前年同期に比べて11億11百万円の減益となりました。

## ③北米

北米地域は、売上高は34億18百万円で、北米市場の減速などにより、前年同期に比べて6億44百万円の減収となりました。セグメント利益は2億61百万円で、売上高の減少などにより、前年同期に比べて1億93百万円の減益となりました。

## ④その他地域

その他地域は、売上高は7億68百万円で、前年同期に比べて1億22百万円の減収となりました。セグメント利益は2億48百万円で、前年同期に比べて33百万円の減益となりました。

< ファルテックグループ >

売上高は199億75百万円で、お客様の生産台数減の影響等により、前年同期に比べて8億68百万円の減収となりました。セグメント損失は1億23百万円で、売上高の減少などにより、前年同期に比べて2億52百万円の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

## ① 総資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して24億74百万円増加し、2,347億49百万円となりました。これは主に有形固定資産が51億63百万円増加した一方、投資有価証券が27億90百万円減少したこと等によるものであります。

## ② 負債

負債は、前連結会計年度末と比較して29億98百万円増加し、998億円となりました。これは主に短期借入金が増加したこと等によるものであります。

## ③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末と比較して5億23百万円減少し、1,349億49百万円となりました。これは主に利益剰余金が8億54百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が13億90百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,248	40,308
受取手形及び売掛金	46,279	43,528
商品及び製品	11,702	12,070
仕掛品	4,254	4,552
原材料及び貯蔵品	7,126	7,380
その他	6,302	6,228
貸倒引当金	△313	△264
流動資産合計	114,600	113,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,613	22,582
機械装置及び運搬具(純額)	29,429	30,704
その他(純額)	18,055	20,975
有形固定資産合計	69,099	74,262
無形固定資産		
のれん	667	622
その他	1,934	2,046
無形固定資産合計	2,601	2,669
投資その他の資産		
投資有価証券	24,563	21,772
退職給付に係る資産	4,892	5,056
その他	16,536	17,282
貸倒引当金	△18	△98
投資その他の資産合計	45,974	44,013
固定資産合計	117,675	120,945
資産合計	232,275	234,749

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,663	16,542
電子記録債務	10,355	9,866
短期借入金	25,230	26,992
未払法人税等	1,371	857
賞与引当金	2,286	2,432
その他	11,275	14,192
流動負債合計	69,184	70,884
固定負債		
長期借入金	14,116	14,668
退職給付に係る負債	6,338	6,191
引当金	1,112	933
資産除去債務	101	177
その他	5,949	6,945
固定負債合計	27,618	28,916
負債合計	96,802	99,800
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,758	4,758
資本剰余金	4,209	4,209
利益剰余金	88,412	89,266
自己株式	△1,118	△1,119
株主資本合計	96,261	97,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,083	8,693
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	12	756
退職給付に係る調整累計額	162	126
その他の包括利益累計額合計	10,258	9,576
新株予約権	161	147
非支配株主持分	28,791	28,109
純資産合計	135,472	134,949
負債純資産合計	232,275	234,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	47,181	43,845
売上原価	35,127	34,235
売上総利益	12,054	9,610
販売費及び一般管理費	6,968	6,755
営業利益	5,086	2,854
営業外収益		
受取利息	69	86
受取配当金	117	122
持分法による投資利益	622	474
その他	99	145
営業外収益合計	909	829
営業外費用		
支払利息	67	87
為替差損	64	130
その他	59	115
営業外費用合計	191	332
経常利益	5,804	3,351
特別利益		
固定資産売却益	—	11
新株予約権戻入益	—	13
課徴金返還額	—	60
補助金収入	17	—
特別利益合計	17	84
特別損失		
固定資産除却損	9	23
投資有価証券評価損	—	17
特別損失合計	9	41
税金等調整前四半期純利益	5,811	3,394
法人税等	1,043	655
四半期純利益	4,768	2,738
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,270	659
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,498	2,079



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	4,768	2,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	△1,393
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△2,377	1,073
退職給付に係る調整額	△22	△42
持分法適用会社に対する持分相当額	△429	180
その他の包括利益合計	△2,866	△182
四半期包括利益	1,902	2,556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,162	1,397
非支配株主に係る四半期包括利益	739	1,159

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間より、株式会社北九州ファルテックは、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社において、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している在外子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

一部の連結子会社において、退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として12年で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当第1四半期連結会計期間より費用処理年数を10年に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## (セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	T P R グループ (除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,276	9,106	4,062	890	26,337	20,844	47,181
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,391	812	27	16	3,247	0	3,247
計	14,668	9,919	4,090	907	29,584	20,844	50,429
セグメント利益	1,319	2,630	455	282	4,687	129	4,817

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,817
セグメント間取引消去	36
未実現利益の調整額	232
四半期連結損益計算書の営業利益	5,086

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	T P R グループ (除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,305	7,377	3,418	768	23,869	19,975	43,845
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,232	902	27	13	3,176	0	3,176
計	14,538	8,279	3,446	782	27,046	19,975	47,022
セグメント利益又は損失 (△)	859	1,519	261	248	2,889	△123	2,766

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,766
セグメント間取引消去	32
未実現利益の調整額	55
四半期連結損益計算書の営業利益	2,854

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。